

第 51 期 決算公告

貸 借 対 照 表

重要な会計方針に係る事項に関する注記

株式会社オカムラ食品工業

貸借対照表

(2021年 6月30日現在)

(単位：百万円)

項 目	金 額	項 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	[9,361]	流動負債	[7,207]
現金及び預金	1,327	買掛金	566
売掛金	1,777	短期借入金	5,500
商品及び製品	1,595	1年内返済予定の長期借入金	311
仕掛品	52	リース債務	16
原材料及び貯蔵品	2,277	未払金	254
前払費用	18	1年内返済予定の長期未払金	57
未収入金	2,302	未払費用	7
その他	11	未払法人税等	270
貸倒引当金	△0	未払消費税等	171
		預り金	18
		ポイント引当金	33
		その他の	0
固定資産	[3,146]	固定負債	[2,046]
(有形固定資産)	(1,239)	長期借入金	1,411
建築物	188	リース債務	39
構築物	191	退職給付引当金	122
機械及び装置	289	役員退職慰労引当金	281
車両運搬具	1	資産除去債務	53
工具器具備品	21	その他の	137
土地	497	負債合計	9,253
リース資産	51	(純資産の部)	
		株主資本	[3,257]
(無形固定資産)	(14)	資本金	(90)
ソフトウェア	14	資本剰余金	(1,629)
その他	0	その他資本剰余金	1,629
(投資その他の資産)	(1,892)	利益剰余金	(1,537)
投資有価証券	54	利益準備金	22
関係会社株式	1,469	その他利益剰余金	(1,515)
出資金	0	特別償却準備金	121
関係会社長期貸付金	862	圧縮積立金	5
破産更生債権等	0	別途積立金	800
長期前払費用	0	繰越利益剰余金	588
繰延税金資産	123	(うち当期純利益)	(564)
長期未収入金	726	評価・換算差額等	[△3]
その他	31	その他有価証券評価差額金	(△3)
貸倒引当金	△1,376	純資産合計	3,254
資産合計	12,508	負債・純資産合計	12,508

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

- ① 有価証券
 - 子会社株式 移動平均法による原価法
 - その他有価証券
 - 時価のあるもの 決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております)
 - 時価のないもの 移動平均法による原価法
- ② たな卸資産
 - 商品及び製品、原材料 主として総平均法による原価法
 - 貯蔵品 最終仕入原価法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

- ① 有形固定資産
(リース資産を除く) 定率法によっております。ただし、1998年4月以降に取得した建物、2016年4月以降に取得した建物附属設備、構築物については、定額法を採用しております。
- ② 無形固定資産
(リース資産を除く) 定額法によっております。なお、ソフトウェア(自社利用)については、社内における見込利用可能期間(5年)による定額法を採用しております。
- ③ リース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

- ① 貸倒引当金 売掛債権、貸付金等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、また、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
- ② ポイント引当金 顧客に付与したポイントの使用による費用発生に備えるため、将来使用されると見込まれる金額を計上しております。
- ③ 退職給付引当金 従業員への退職金の支給に備えるため、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。
- ④ 役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

(4) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

- ① 外貨建の資産および負債の本邦通貨への換算基準
外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。
- ② 消費税等の会計処理
税抜方式を採用しております。

以上